

担当講義の受講を希望する人へ/担当講義を受講している人へ

MyKonan

- 講義の概要、到達目標、成績評価など、必ずシラバスを読んで下さい。
- 資料、課題など、MyKonan にて確認して下さい。

講義中のマナー (特に、私語について)¹

- 講義は知識を深めるだけでなく、自分でも気づかない新しい自分の興味に出会える貴重な時間です。折角の機会を逃さないよう、充実した講義になるようみんなで協力しましょう。そのための約束事が「マナー」です。
- 自律的に学ぶ姿勢があればマナーは自然に守られるものです。

私語は周りの学生達の迷惑になります。

- 私語は本人たちが思っている以上に大きな音として周りに聞こえます。周囲の人たちには、講義内容が聞き取りにくい、講義に集中しにくいなどのかたちで、迷惑が掛かってしまいます。
- 講義内容の分からないところ、聞き取れなかったところ、出された課題の内容などを周囲に質問する人がいると、そのあいだ、話しかけられている人は講義を聞いたり集中して物事を考えたりすることができません。
- 私語の内容が講義に関することであってもなくても、周りの迷惑になるということを肝に銘じて下さい。

私語は教員の迷惑になります。

- 教員はみなさんの反応を見ながら講義を進めています。話題がみなさんの興味を引いているか、内容が理解されているか、などを感じ取ろうとしながら話をしているのです。

¹甲南大学 FD 委員会が作成した文面を修正しています。渡邊個人の見解としてお読み下さい。

- 私語は、教員がそういった反応を読み取る上で雑音となります。ひどい場合には、講義の進行に支障をきたしかねません。
- 教員が私語を止めるように注意すると、それによってさらに講義の流れが中断されてしまいます。
- つまり、私語は講義の質を下げることにもつながりかねないのです。そうなっては、真剣に講義を受けている周りの人にとって大変な損失です。

私語は自分にとってもマイナスです。

- 私語はまわりの迷惑になりますが、一番損をしているのは学ぶ機会を放棄してしまっている自分自身だと言えるでしょう。
- では、どうして私語をしてしまうのでしょうか。「講義がおもしろくないから」という人がいます。しかし、専門的な内容には、話を少し聞いただけでは、すぐにはおもしろさが分からない、というものも多くあります。
- おもしろく感じられないからといって、私語をしていては、ますます学問のおもしろさを発見する機会を遠ざけるだけで、何の解決にもなりません。
- 内容を本当に理解し、考え、おもしろさを感じるためには、はじめから終わりまで講義をじっくり聞くことが大前提です。

正しい学ぶ姿勢からは私語は生まれない。

- 一生懸命に聴こうという「きもち」だけでなく、自然と聴けてしまう「かたち」も身につけてみてはいかががでしょう。
- 「常に話し手の方を見て「聴き取ったことをメモに取る」姿勢で講義に臨めば、ぐんと講義に集中することができて、うっかり私語をしてしまうこともなくなるのではないのでしょうか。

2013年3月
渡邊 栄治